

# 令和3年度 前期授業アンケート回答状況(最終報告)

【期間:7月19日(月)~8月10日(火)】

(8月10日23:59時点)

1年生	最終回答率(%)	昨年度の 最終回答率(%)	科目数	履修者数 (のべ)	回答者数 (のべ)
全体	91.8	91.7	60	3,556	3,264
食物栄養学科	89.3	81.7	13	914	816
専攻科	98.1	98.4	10	160	157
幼児教育学科	90.5	95.6	12	1,003	908
経営情報学科	94.5	93.4	17	1,279	1,209
健康福祉学科	87.0	90.7	8	200	174

2年生	最終回答率(%)	昨年度の 最終回答率(%)	科目数	履修者数 (のべ)	回答者数 (のべ)
全体	83.7	64.6	46	2,529	2,117
食物栄養学科	90.7	58.7	10	713	647
専攻科	100.0	36.1	5	35	35
幼児教育学科	76.2	70.3	8	748	570
経営情報学科	89.3	63.9	15	806	720
健康福祉学科	63.9	66.2	8	227	145

富山短期大学 令和3年度前期授業アンケート結果（総合評価・比較）

< I. 授業で獲得できた「学修成果」に関する自己評価 >

問1. この授業では、皆さんは、どの程度「学修成果」を獲得したと自分で評価しますか。

- (1) 授業で説明された知識を理解し、身に付けることができた。
- (2) 授業で目指された、実践や表現、分析等のための技能（スキル）を身に付けることができるようになった。
- (3) 授業で学習した知識・技能を活用して、当該分野の課題を解決あるいは表現・実践できるようになった。
- (4) 当該分野に対する関心が高まり、自ら主体的に学ぶ意欲、あるいは課題に取り組む意欲が増した。
- (5) 他者や社会、自然・環境との関わりの中に生きる人間として必要な社会性・人間性が身に付いた。

< IV. 総合評価 >

問5. あなたにとって、この授業は、総合的に見て良かったと思いますか。

< 5段階評価 >

A = 「大いに身に付いた」 B = 「いくらか身に付いた」 C = 「どちらともいえない」

D = 「あまり身に付かなかった」 E = 「まったく身に付かなかった」

A = 4 B = 3 C = 2 D = 1 E = 0 として、回答平均を記載。

1年生

学科名		問1(1)	問1(2)	問1(3)	問1(4)	問1(5)	問5
食物栄養学科	2020	3.4	3.3	3.2	3.4	3.1	3.4
	2021	3.4	3.2	3.2	3.3	3.1	3.5
	比較	±0.0	-0.1	±0.0	-0.1	±0.0	+0.1
専攻科食物栄養専攻	2020	3.2	3.2	3.2	3.3	3.1	3.4
	2021	3.3	3.2	3.1	3.3	2.8	3.2
	比較	+0.1	±0.0	-0.1	±0.0	-0.3	-0.2
幼児教育学科	2020	3.5	3.4	3.4	3.5	3.3	3.5
	2021	3.5	3.5	3.4	3.5	3.4	3.4
	比較	±0.0	+0.1	±0.0	±0.0	+0.1	-0.1
経営情報学科	2020	3.5	3.4	3.3	3.5	3.2	3.6
	2021	3.5	3.4	3.3	3.4	3.2	3.5
	比較	±0.0	±0.0	±0.0	-0.1	±0.0	-0.1
健康福祉学科	2020	3.3	3.2	3.0	3.2	3.2	3.4
	2021	3.4	3.3	3.2	3.3	3.4	3.7
	比較	+0.1	+0.1	+0.2	+0.1	+0.2	+0.3

2年生

学科名		問1(1)	問1(2)	問1(3)	問1(4)	問1(5)	問5
食物栄養学科	2020	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3
	2021	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.5
	比較	+0.1	+0.1	+0.1	+0.1	+0.1	+0.2
専攻科食物栄養専攻	2020	3.5	3.4	3.5	3.5	3.2	3.6
	2021	3.3	3.3	3.3	3.4	3.2	3.5
	比較	-0.2	-0.1	-0.2	-0.1	±0.0	-0.1
幼児教育学科	2020	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
	2021	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5
	比較	+0.2	+0.2	+0.2	+0.2	+0.1	+0.2
経営情報学科	2020	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6
	2021	3.6	3.5	3.4	3.5	3.3	3.6
	比較	-0.1	-0.1	-0.2	-0.1	-0.2	±0.0
健康福祉学科	2020	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.3
	2021	3.3	3.2	3.1	3.2	3.2	3.4
	比較	+0.1	+0.1	±0.0	+0.1	+0.1	+0.1

■食物栄養学科1年生

科目名	問1(1)	問1(2)	問1(3)	問1(4)	問1(5)	問5	
食品学実験	3.4	3.4	3.2	3.5	3.2	3.6	
栄養指導論Ⅰ	3.2	3.1	3	3.2	3.1	3.4	
調理学	3.4	3.3	3.2	3.4	3.0	3.5	
調理学実習Ⅱ	3.6	3.5	3.4	3.6	3.5	3.8	
国語表現法	3.5	3.3	3.1	3.4	3.3	3.6	
日本国憲法	3.3	3.1	3.2	3.2	3.3	3.4	
化学の基礎	3.2	3.0	3.0	3.1	2.8	3.3	
情報処理演習Ⅰ	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.3	
運動と健康	3.3	3.1	3.0	3.1	3.0	3.2	
教養演習	3.5	3.3	3.3	3.3	3.4	3.6	
教師論	3.4	3.3	3.3	3.3	3.1	3.5	
教育心理学	3.3	3.1	2.8	3.0	2.9	3.0	
特別支援教育概論	3.6	3.4	3.4	3.4	3.4	3.8	
総合評価	2020	3.4	3.3	3.2	3.4	3.1	3.4
	2021	3.4	3.2	3.2	3.3	3.1	3.5
	比較	±0.0	-0.1	±0.0	-0.1	±0.0	+0.1

■食物栄養学科2年生

科目名	問1(1)	問1(2)	問1(3)	問1(4)	問1(5)	問5
食品学各論	3.6	3.5	3.5	3.6	3.3	3.6
臨床栄養学Ⅲ	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.6
解剖生理学実験	3.5	3.5	3.4	3.5	3.4	3.6
給食管理実習	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5
生化学Ⅰ	3.5	3.5	3.4	3.5	3.3	3.6
栄養指導論実習	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6
食品衛生学実験	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5
ビジネススキル演習	3.5	3.5	3.5	3.5	3.6	3.7
社会福祉概論	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3	3.2
栄養教育実習指導	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	4



■専攻科食物栄養専攻1年生

科目名		問1(1)	問1(2)	問1(3)	問1(4)	問1(5)	問5
保健衛生学特論Ⅰ		3.3	3.1	2.9	3.1	2.7	3.4
臨床医学Ⅰ		3.1	2.9	2.8	2.9	2.6	3.1
食品学特論Ⅰ		3.6	3.6	3.6	3.6	3.1	3.4
栄養学特論Ⅰ		3.4	3.2	3.1	3.4	2.8	3.4
栄養学特論Ⅱ		3.3	3.1	3.1	3.2	2.8	3.3
栄養教育特論		3.2	3.1	3.1	3.2	2.8	3.1
調理学特論		3.4	3.3	3.2	3.5	3.1	3.5
臨床心理学特論		3.3	3.2	3.3	3.1	3.1	3.2
情報処理特論		3.4	3.2	3.2	3.3	2.9	3.2
健康科学文献購読Ⅰ		3.1	3.1	3.2	3.4	2.6	2.6
総合評価	2020	3.2	3.2	3.2	3.3	3.1	3.4
	2021	3.3	3.2	3.1	3.3	2.8	3.2
	比較	+0.1	±0.0	-0.1	±0.0	-0.3	-0.2

■専攻科食物栄養専攻2年生

科目名		問1(1)	問1(2)	問1(3)	問1(4)	問1(5)	問5
応用栄養学特別実習		3.3	3.3	3.4	3.4	3.0	3.3
生化学特論		3.1	3.3	3.0	3.3	3.0	3.6
経営管理特論		3.4	3.4	3.3	3.6	3.4	3.4
公衆栄養学特論		3.4	3.4	3.6	3.4	3.3	3.4
公衆栄養学特別演習		3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
総合評価	2020	3.5	3.4	3.5	3.5	3.2	3.6
	2021	3.3	3.3	3.3	3.4	3.2	3.5
	比較	-0.2	-0.1	-0.2	-0.1	±0.0	-0.1

■幼児教育学科1年生

科目名	問1(1)	問1(2)	問1(3)	問1(4)	問1(5)	問5	
子ども家庭福祉	3.5	3.4	3.2	3.5	3.4	3.4	
社会福祉	3.3	3.3	3.3	3.3	3.5	3.1	
保育の心理学	3.7	3.6	3.5	3.6	3.5	3.7	
子どもの保健	3.6	3.6	3.4	3.7	3.5	3.8	
子どもの食と栄養Ⅰ	3.2	3.1	3.0	3.2	3.1	2.9	
乳児保育Ⅰ	3.7	3.6	3.4	3.5	3.4	3.6	
音楽表現技術Ⅰ	3.8	3.7	3.6	3.7	3.4	3.7	
造形表現技術Ⅰ	3.6	3.6	3.7	3.7	3.3	3.6	
健康スポーツ	3.6	3.6	3.5	3.7	3.5	3.6	
運動と健康	3.2	3	3.2	3.3	3.4	2.9	
基礎演習	3.6	3.6	3.6	3.7	3.5	3.6	
コミュニケーションと情報	3.4	3.4	3.4	3.3	3.2	3.2	
総合評価	2020	3.5	3.4	3.4	3.5	3.3	3.5
	2021	3.5	3.5	3.4	3.5	3.4	3.4
	比較	±0.0	+0.1	±0.0	±0.0	+0.1	-0.1

■幼児教育学科2年生

科目名	問1(1)	問1(2)	問1(3)	問1(4)	問1(5)	問5	
特別支援論Ⅱ	3.7	3.6	3.5	3.6	3.6	3.7	
子どもと健康	3.7	3.6	3.6	3.7	3.5	3.6	
子どもと人間関係	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5	
子どもと環境	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6	
保育内容(音楽表現)指導法	3.6	3.5	3.5	3.6	3.4	3.5	
保育実習指導Ⅱ	3.7	3.7	3.6	3.7	3.5	3.7	
社会的養護Ⅱ	3.5	3.5	3.5	3.5	3.6	3.5	
英語Ⅱ	3.4	3.3	3.2	3.3	3.1	3.2	
総合評価	2020	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
	2021	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5
	比較	+0.2	+0.2	+0.2	+0.2	+0.1	+0.2

■経営情報学科1年生

科目名	問1(1)	問1(2)	問1(3)	問1(4)	問1(5)	問5	
経済学の基礎	3.2	3.1	3.0	3.2	3.1	3.2	
経営学の基礎	3.3	3.2	3.1	3.3	3.3	3.4	
財務会計	3.3	3.3	3.3	3.4	2.8	3.4	
簿記論	3.5	3.5	3.4	3.4	2.8	3.6	
ビジネス実務演習Ⅰ	3.6	3.4	3.2	3.4	3.3	3.5	
キャリア・デザイン講座	3.7	3.6	3.5	3.6	3.7	3.7	
ウェブデザイン基礎演習Ⅰ	3.7	3.7	3.6	3.7	3.0	3.6	
表計算演習Ⅰ	3.7	3.6	3.6	3.6	3.0	3.6	
日本語文書処理演習Ⅰ	3.7	3.7	3.6	3.7	2.8	3.6	
図書館概論	3.4	3.2	3.3	3.5	3.1	3.4	
日本語表現	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.3	
ITリテラシー	3.6	3.4	3.4	3.5	3.2	3.4	
総合英語Ⅰ	3.5	3.4	3.3	3.5	3.1	3.7	
総合英語Ⅱ	3.6	3.5	3.3	3.5	3.4	3.7	
中国語Ⅰ	3.6	3.5	3.4	3.5	3.2	3.6	
図書館サービス概論	3.2	3.3	3.1	3.3	3.0	3.1	
図書館情報資源概論	3.3	3.2	3.2	3.3	3.0	3.1	
総合評価	2020	3.5	3.4	3.3	3.5	3.2	3.6
	2021	3.5	3.4	3.3	3.4	3.2	3.5
	比較	±0.0	±0.0	±0.0	-0.1	±0.0	-0.1

■経営情報学科2年生

科目名	問1(1)	問1(2)	問1(3)	問1(4)	問1(5)	問5
金融論	3.0	2.9	2.8	3.0	3.0	2.9
マーケティング演習	3.7	3.6	3.6	3.7	3.7	3.8
経営学特講	3.6	3.6	3.4	3.6	3.4	4.0
財務会計	3.3	3.3	3.3	3.4	2.8	3.4
財務会計演習	3.4	3.4	3.2	3.4	2.8	3.4
簿記演習Ⅱ	3.3	3.3	3.2	3.2	2.3	3.4
現代社会と新聞	3.7	3.6	3.6	3.6	3.7	3.8

科目名		問1(1)	問1(2)	問1(3)	問1(4)	問1(5)	問5
ビジネス英語Ⅰ		3.8	3.7	3.7	3.8	3.3	3.8
秘書実務演習Ⅰ		3.8	3.7	3.6	3.8	3.9	3.8
データベース基礎論		3.7	3.7	3.7	3.7	3.3	3.8
日本語文書処理演習Ⅲ		3.7	3.6	3.7	3.6	3.2	3.6
ウェブデザイン応用演習Ⅰ		3.7	3.7	3.6	3.6	3.0	3.6
ウェブプログラミング演習Ⅰ		3.6	3.7	3.6	3.8	3.1	3.6
中国語Ⅲ		3.6	3.6	3.6	3.8	3.6	3.7
情報サービス論		3.5	3.3	3.3	3.3	3.1	3.3
総合評価	2020	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6
	2021	3.6	3.5	3.4	3.5	3.3	3.6
	比較	-0.1	-0.1	-0.2	-0.1	-0.2	±0.0



■健康福祉学科1年生

科目名		問1(1)	問1(2)	問1(3)	問1(4)	問1(5)	問5
生活支援技術Ⅰ		3.7	3.7	3.5	3.5	3.6	3.7
介護福祉論Ⅱ		3.2	3.2	3	3.2	3.3	3.6
コミュニケーション技術Ⅰ		3.2	3.1	3.1	3.3	3.4	3.7
コミュニケーション技術Ⅱ		3.8	3.6	3.4	3.6	3.6	3.8
こころとからだのしくみ		3.2	3.1	3	3.4	3	3.7
発達と老化の理解Ⅰ		3.3	3.1	3.2	3	3.3	3.5
社会保障論		3.3	3.3	3.1	3.3	3.5	3.6
健康福祉論		3.5	3.3	3.4	3.4	3.4	3.7
総合評価	2020	3.3	3.2	3.0	3.2	3.2	3.4
	2021	3.4	3.3	3.2	3.3	3.4	3.7
	比較	+0.1	+0.1	+0.2	+0.1	+0.2	+0.3

■健康福祉学科2年生

科目名		問1(1)	問1(2)	問1(3)	問1(4)	問1(5)	問5
医療的ケアⅠ		3.5	3.4	3.2	3.4	3.2	3.5
障害者福祉論		3.2	3	3	3	3.2	3.2
生活支援技術Ⅲ		3.7	3.8	3.5	3.5	3.2	3.7
生活支援技術Ⅴ		3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.6
実習指導Ⅲ		3.5	3.5	3.5	3.4	3.2	3.6
医療秘書実習		3.6	3.6	3.1	3.1	3.3	3.4
医療と介護の報酬請求		3.9	3.9	3.7	3.7	3.1	3.9
人間の尊厳と自立		3.2	2.9	2.9	3.1	3.2	3.1
総合評価	2020	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.3
	2021	3.3	3.2	3.1	3.2	3.2	3.4
	比較	+0.1	+0.1	±0.0	+0.1	+0.1	+0.1

### R3 年度前期 授業改善レポート 食物栄養学科のまとめ

#### 1) 昨年度との比較

- ・ 授業アンケートの問 5 の総合評価において、昨年度と大きく増減した科目がいくつかあった。しかしながら、その多くの科目は昨年度との比較が、まったく同じ科目ではないものが多いため、科目の違いが原因と考えられる。同じ科目間での比較で 0.3 ポイント以上増加した科目が 3 科目あった。解剖生理学実験は、担当教員が交代したのが理由と考えられる。生化学 I およびビジネススキル演習は、昨年度と比較して 0.3 ポイント増加したが、科目の特性上遠隔での授業が難しい科目である。今年度は、対面での授業ができたことが、ポイント増加の大きな理由だと考えられる。
- ・ 科目別の問 5 の結果を見ると、2021 年度前期は、すべての科目で 3 ポイント以上となっており、特に問題となる授業はないと考えられる。
- ・ 問 5 の全科目平均は、3.5 ポイントであった。このポイントを得るためには、少なく都の回答者の半数以上が最高 4 点の「大変良い」と答えなければならない。残りは半分が 3 点「良い」と答えているような状況であり、本学科の授業が総じて学生から非常に高い評価を得ているといえる。
- ・ 問 1 の全科目平均の回答について、1 年生は(1)の知識に関するポイントが一番高く 3.4 ポイントであった。1 年生の前期では基本的な知識を身に付ける科目が多いためそのような結果になったと考えられる。2 年生では、(2)から(5)の技能、表現・実践力、意欲、社会性・人間性などの項目のポイントが、1 年次に比べて増加している。2 年生前期においては、1 年次に学んだ知識を活用して、実践的なスキルを身に付けられるように実習の授業が多くなっている。実習を通して、(2)から(5)についての学修の成果が上がっているとうかがえた。
- ・ 問 1 各科目の結果とみると、1 年生ではあまり変化はないが、2 年生では全体的にポイントが増加していた。2 年生前期は実験や実習が多いが、昨年度は遠隔授業をやむを得ずおこなった。今年は、対面での授業ができことが大きな理由と考えられる。

#### 2) その他

- ・ 多様な学生が学習しやすいように、復習動画、授業ノートを纏めたプリント、要点プリントなど種々の学習ツールを作成している科目がある。
- ・ 関連するビデオを見せてより理解を深めるようにしている授業があった。
- ・ グループワークを取り入れた授業で、プレゼンの機会を増やし、グループやペアでそのプレゼンの振り返りを行い、それを踏まえて修正するといった取り組みを行っている授業があった。
- ・ 実験では、グループで行うことが多いが、実験に携われない学生もいることから、個人での実験も実施した実験系の授業があった。
- ・ 調理学実習では、魚の三枚おろしが苦手な学生も多いため、料理を繰り返して行うなどの工夫を行っていた。
- ・ ビジネススキル演習では、オンラインでの面接練習を行った。

## R3 年度前期 授業改善レポート 専攻科のまとめ

### 1) 昨年度との比較

- ・ 授業アンケートの間5の総合評価において、1年生、2年生のいずれも昨年より平均で0.1から0.2ポイントの減少が見られるが、各科目について一昨年と比較すると同程度の評価であった。
- ・ 昨年度の前期は、5月中旬まで完全遠隔で授業を実施しており、イレギュラーだったことを加味すると、一昨年と同程度ということは、通年と同程度の評価が得られていると考えることができる。
- ・ コロナ禍での昨年度の対応に関して評価されていたことが、今年度の結果からさらに明確になった。
- ・ 専任教員による科目に関しては、いずれも総合評価において3以上の評価を得られていることから、平均的には「良かった」以上の評価を得ていることになる。
- ・ 専攻科1年生については、管理栄養士国家試験合格に向けて、各専門教科において知識の定着をこれまで以上に意識して授業を行った。問1(1)L0-1の自己評価が上昇したことから、今年度の専攻科のねらいが効果的に現れているのではないかと考えられる。
- ・ 今期のアンケートの回答率は、1年生が98.1%（昨年度前期98.4%）2年生が100%（昨年度36.1%）とほぼ100%の回答が得られた。そのため、すべての学生の意見が本アンケートに反映されていると言える。2年生において回答率が著しく改善されたが、2020年度入学生（現2年生）は、1年次から回答率が高かったため、初年度から期末アンケートを回答する習慣を意識的につけることが、全体の回答率を向上させるためにも重要ではないかと考えられる。1年生については、科目担当の工夫もあり、高い回答率を得られているため、今後も継続して期末アンケートに回答するように働きかけたい。

### 2) その他

- ・ 科目ごとに担当教員が授業方法で工夫したことをあげているが、発表など学生が主体的に取り組めるような取り組みを積極的に行っている科目が多い。専攻科の教育研究上の目的の高度な専門の知識や技術、判断力を養成するためには効果的な取り組みを行っていると考える。
- ・ 各科目の担当教員が、それぞれの授業の特性に合わせた工夫を行っているため、全体的に高評価を得られていると考える。各科目の担当教員は、個別の改善レポートにおいて担当科目の改善計画をあげており、次年度以降の教育の質向上につながると考えられる。
- ・ 専攻科1年生の前期科目について、トータルとして評価方法L0-1からL0-5まですべて網羅できているが、今回のアンケート対象科目は専門科目の講義科目がほとんどであったため、L0-1のウェイトが若干高い。科目ごとのL0の配分は科目担当の判断になるが、専攻科全体としてのバランスにも注視しながら、必要に応じて教育課程や授業の方針の見直しを行う必要があるのかもしれない。

## 1) 昨年度との比較

- ①〈総合評価〉1年生は問1(2)(5)で0.1上昇であるがほぼ前年度と同じである。2年生はすべての設問で0.1~0.2上昇している。昨年度前期、コロナ感染拡大に伴い4月は自宅待機、5月は全て遠隔授業という学習形態であった。今年度はほぼ対面で授業参加という授業形態の差が評価に出ているのではないかと考えられる。
- ②〈「学修成果」に対する自己評価〉2年生は(1)~(5)全てで「-」になった項目がない。1年生は問の数60の内、「-」が12、「+」が28であり、総合的には評価は上がっている。特に問1の(5)は科目数12の内8科目で上昇している。Lo5「人間性・社会性」は能動的な学びやグループワークの経験、保育における愛情と感性の重要性を実感した学習経験が評価されているのではないかと考えられる。
- ③同じ担当者でも前年と異なる授業の場合や、同じ授業で担当者が変わった場合の比較が難しい。演習系科目や保育内容・方法関連の科目は以前から自己評価・総合評価が高めであったが、今年度は教養科目(基礎演習、コミュニケーションと情報、英語II)における評価数値も良好で上昇傾向にある。
- ④各教員による改善のポイントとして、ICT及び視聴覚教材の活用やデータの改良、外部講師による講義の導入等が多く挙げられている。
- ⑤各教員の概況分析においても、今年度は対面授業中心であったため、グループワークや学生参加・協働学習を実施できたことが評価値上昇に繋がったという意見が少なくなかった。
- ⑥前年度の遠隔授業実施から、幼児教育学科では[Webシラバス]を授業に活用する教員が増えている。特に講義系科目で「授業アンケート」の学生の感想や質問を基にしたフィードバック、予習用の事前資料や課題レポート・作品データの提出などに活用されている。コロナ禍の対策から考えられた方法(動画配信など)が継続して授業に取り入れられ、授業改善に活かされている。

## 2) 課題

- ①学生による自己評価や授業評価は上昇しているが、テストやレポートにおける授業の理解度は必ずしも深まっているとは言えない。近年、特に学力差が大きくなり、GPAが1.5未満の学生が増えてきている。授業改善は積極的に取り組んでいるが、学習内容の質を落とさず、加えて基礎的な学力やコミュニケーション能力が著しく劣る学生に対する指導に取り組まなくてはならない。
- ②学生のPC必携化に向けた準備を進めるにあたって、Webシラバスやネットワークシステムを活用した調査や授業展開の改善が可能になる。授業アンケートデータがより正確な形で授業担当者に伝わり、学生自身が自分を振り返るためのポートフォリオとして活用できるシステムに進化させていく必要がある。
- ③ICT教育に関する学習が教育課程に取り入れられることになり、学科教員にもICTに関する知識・活用技能において高いスキルが求められている。

【昨年度との比較】

<1年生>

- ・総合評価（問5）については、昨年と比較してマイナス0.1であり全体的に大きな変化はないと判断する。
- ・「図書館サービス概論」（非常勤講師）は昨年と比較してマイナス0.6、一昨年と比較してもマイナス0.4と評価を落としている。非常勤講師のため授業改善レポートは無いが、同分野の教員によると今年の成績下位層は特に消極的であり不明点を自ら質問することが苦手ようである。つまり、そうした時間を強制的に設ける必要があったが、その機会が不足したのではないかと推察する。
- ・「経済学の基礎」については、昨年比マイナス0.4であるが、一昨年と比較するとマイナス0.1で大差はなく、また同じ分野の他教員科目「経営学の基礎」についても同様の傾向が見られるため経済経営分野においては、その年の受講学生気質に起因していると判断する。
- ・「総合英語Ⅰ」については、昨年、一昨年と比較して0.4~0.5のプラスとなっている。これについては、学生から直接「英語の授業が高校の時より分かりやすい」「楽しい」と聞いており、それが数値として表れていると判断する。

<2年生>

- ・総合評価（問5）については、昨年と同数値であり全体的に大きな変化はないと判断する。
- ・「金融論」については、マイナス0.6と評価を落としているが、これについては担当教員が変わったことに要因があると推察している。私が学生から口頭で聞いているのは「単位が取りやすい科目と先輩から聞き受講したが、本当に金融論であった」という意外なコメントである。つまり、そのような方針であった前教員と「より実務レベルで活かせる実践的な金融論を伝えたい」という現教員の差と本年度受講学生の履修目的の差から生じたギャップと理解している。当該科目は2年生対象の選択科目であるため純粋に金融論を学びたいという学生が受講すればよく、そうすることで本年度のような噂はなくなり、しかるべき目的を持った学生が受講するため今回の2.9というような数値は出てこないと考えている。
- ・「日本語文書処理演習Ⅱ」（非常勤講師）は、教員が変わっており昨年比プラス0.8、一昨年比でもプラス0.5と大きく上がっている。非常勤講師のため授業改善レポートはないが、学生からは「授業が分かりやすい」と聞いており、その表れと判断する。

<共通>

アンケート評価値に隠れている背景（事情）は、普段の学生との会話から見えてくることも多く、評価値はあくまで参考値と捉え常に本質を見抜くよう心掛けたい。

以上

## 2021年度前期「教育成果と課題」

健康福祉学科

### 1 調査対象の概要

- ①1年生は8科目（講義5科目、演習3科目）で、回答率87.0%で全体より低かった。専任教員が担当する科目で回答率が一番高かったのは「介護福祉論Ⅱ」「コミュニケーション技術Ⅰ」で100%あった。
- ②2年生は8科目（講義3科目、演習5科目）で、回答率63.9%で全体より20%低く回答率を高める必要がある。専任教員が担当する科目で回答率が高かったのは「障害者福祉論」で91.9%であった。

### 2 教育成果

#### (1) 昨年度との比較

- ①問1の学習成果に対する自己評価の平均値は、1年生は3.2～3.4で昨年度と比べ0.1～0.2ポイント増加し、2年生は3.1～3.3で0.1ポイント増加した。
- ②問5の授業満足度は、1年生は3.7で0.3ポイント増加し、2年生は3.4で0.1ポイント増加した。特に1年生において、全ての科目において満足度が増加しており、「コミュニケーション技術Ⅱ」では、3.8と一番高かった。

#### (2) シラバスのルーブリックからみた学習成果の評価

シラバスのルーブリックからみた学習成果では、学生のアンケートで知識を得たと自己評価が高く（問1(1)LO1）、満足度も高く（問5）、学習成果としての成績も良かったのは、1年生では「健康福祉論」、2年生では「医療的ケアⅠ」であった。

一方で、自己評価も高く、満足度も高いが、結果としての成績に結びつかなかったのは1年生では「生活支援技術Ⅰ」、2年生では「実習指導Ⅲ」であった。

### 3 コロナ禍で工夫したこと

- ①密にならないよう2班編成とし教員が同じ授業を2回行った(生活支援技術Ⅰ)。
- ②対面授業でも遠隔授業でもわかりやすいPPTをはじめ教材づくり。
- ③実習施設を集約、事前打合せを遠隔で実施、まん延防止措置期間中は施設との連携を密にした。

### 4 課題

- ①介護福祉士養成課程の科目と科目のつながりや初任者研修との関係の整理  
新カリキュラムスタートに伴い取組む予定であったが、ワクチン接種への対応などで、日々多忙を極めできなかったことから、時間を確保し領域ごとに実施していく。
- ②感染拡大防止時期の対面方式とオンライン方式の調整  
演習科目は対面、講義科目は対面になりがちであるが、シラバスの中には演習科目でもオンラインで対応可能な回があり、講義科目でも人体模型に触れると効果が倍増する等の回もある。これまでは、演習か講義かでオンラインの有無を調整していたが、今後は、内容による調整など、きめ細かな対応も必要である。
- ③実習日数の増加や教員の授業時間増加に伴う教育の質の担保  
国の指導により実習日数が増加したこと、新カリで科目数が増えたにも関わらず非常勤講師の担当が減っており、教員の授業時間が増加している。教員の心身の健康を維持し、教育の質を担保していく創意と工夫が必要である。

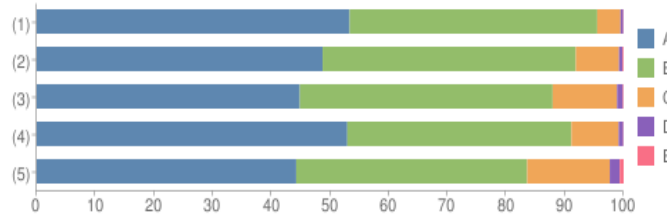
# 2021年度入学1年前期 授業アンケート結果

## 授業で獲得できた「学修成果」に関する自己評価

問1 この授業では、皆さんは、どの程度「学修成果」を獲得したと自分で評価しますか。

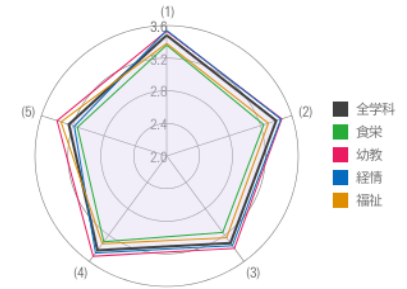
- (1) 授業で説明された知識を理解し、身に付けることができた。
- (2) 授業で目指された、実践や表現、分析等のための技能（スキル）を身に付けることができた。
- (3) 授業で学修した知識・技能を活用して、当該分野の課題を解決あるいは表現・実践できるようになった。
- (4) 当該分野に対する関心が高まり、自ら主体的に学ぶ意欲、あるいは課題に取り組む意欲が増した。
- (5) 他者や社会、自然・環境との関わりの中に生きる人間として必要な社会性・人間性が身に付いた。

全学平均（専攻科を除く）



4学科平均値比較（専攻科を除く）

A：4点, B：3点, ..., E：0点として平均値を求めている。以下,特に注釈がなければ同様。



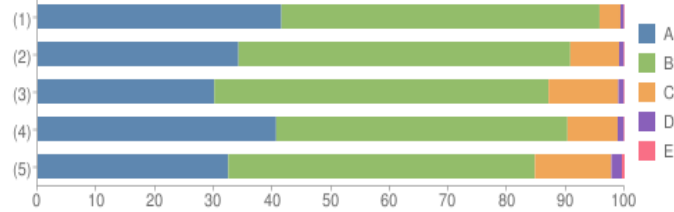
## 【選択肢】

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| A. 大いに身に付いた  | D. あまり身に付かなかった  |
| B. いくらか身に付いた | E. まったく身に付かなかった |
| C. どちらともいえない |                 |

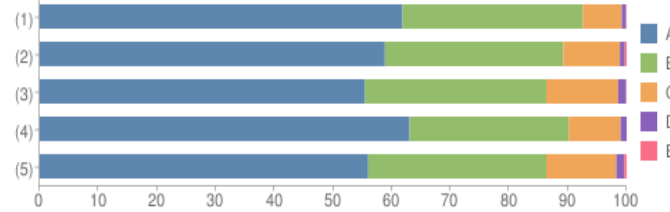
- |               |              |
|---------------|--------------|
| (1) 知識・理解     | (2) 技能       |
| (3) 思考・判断・表現力 | (4) 関心・意欲・態度 |
| (5) 人間性・社会性   |              |

## 学科別回答結果

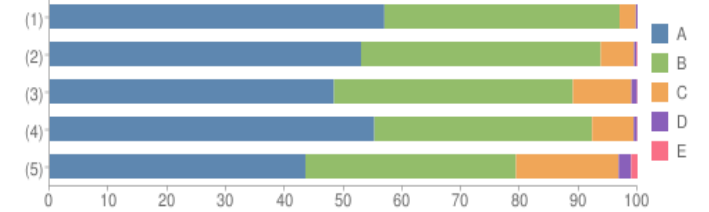
### 食物栄養学科



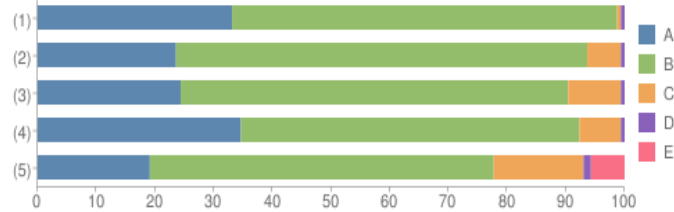
### 幼児教育学科



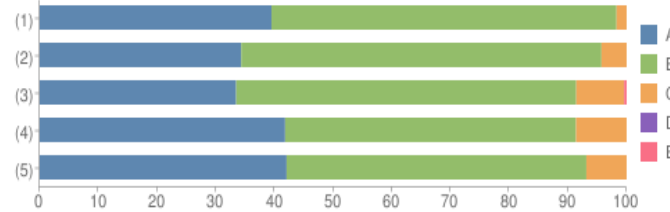
### 経営情報学科



### 専攻科 食物栄養専攻



### 福祉学科



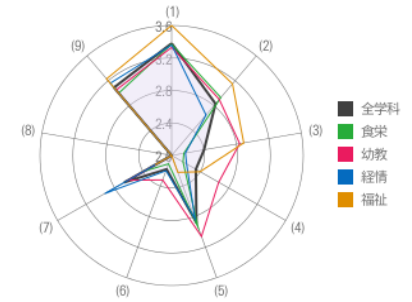
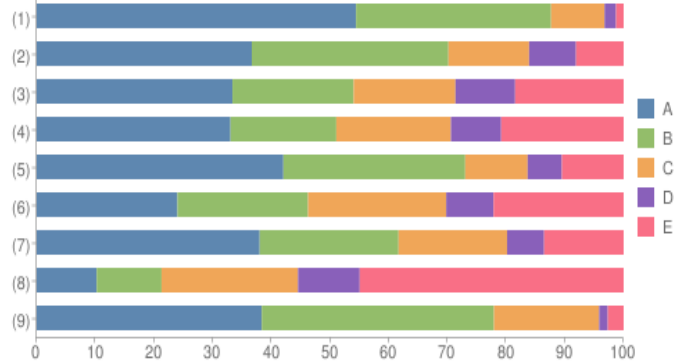
## 授業形態・方法

問2 この授業では、「学修成果」を高めるために、どのような工夫がなされていましたか。

- (1) 教材（配布資料、板書、スライド等）が工夫されていた。
- (2) 授業中に、学生の意見や考えを求められた。
- (3) グループワークやディスカッションなど、学生の参加・協働学習の機会があった。
- (4) 体験的な学習（実習、実験、フィールドワーク等）の機会があった。
- (5) 期末試験の他に、小テストやレポートなどの課題が出された。
- (6) 課題などの提出物が、適切なコメントが付されて返却された。
- (7) 毎回の授業アンケート（「質問・意見」など）に関する解説・回答などフィードバックがあった。
- (8) 個別指導や補習が行われた。
- (9) その他、「学修成果」を高める工夫がなされた。

### 【選択肢】

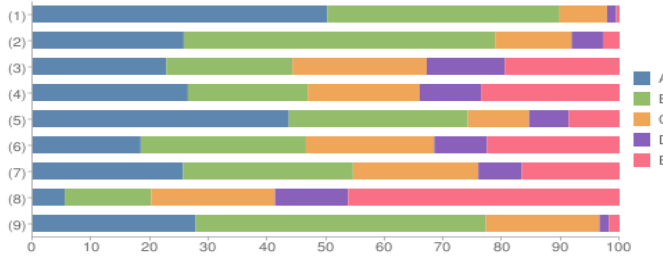
- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| A. 大いにあった    | D. あまりなかった        |
| B. いくらかあった   | E. まったくなかった（該当なし） |
| C. どちらともいえない |                   |



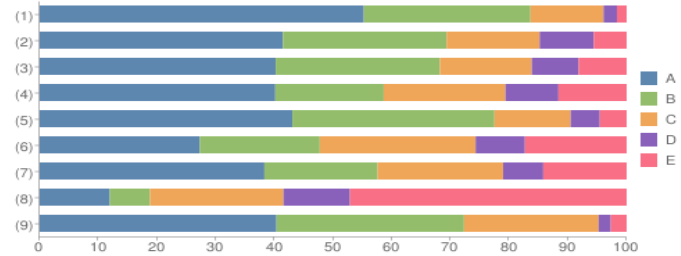
- |                       |              |
|-----------------------|--------------|
| (1)教材の工夫              | (2)双方向・学生の意見 |
| (3)グループワーク 学生の参加・協働学修 | (4)体験学習      |
| (5)小テスト/レポート          | (6)コメント付き返却  |
| (7)毎回アンケートのフィードバック    | (8)個別指導・補習   |
| (9)その他の工夫             |              |

## 学科別回答結果

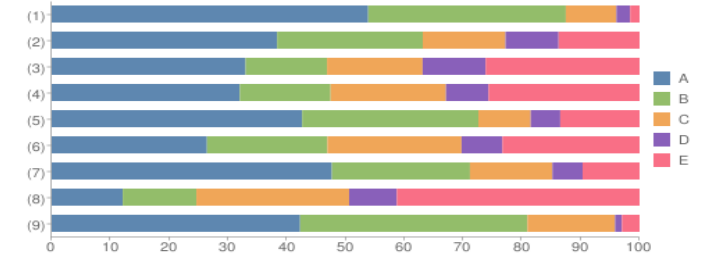
### 食物栄養学科



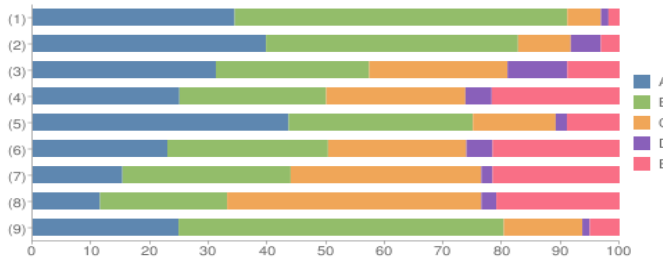
### 幼児教育学科



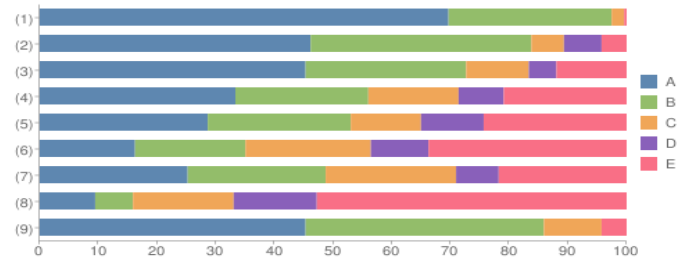
### 経営情報学科



### 専攻科 食物栄養専攻



### 福祉学科





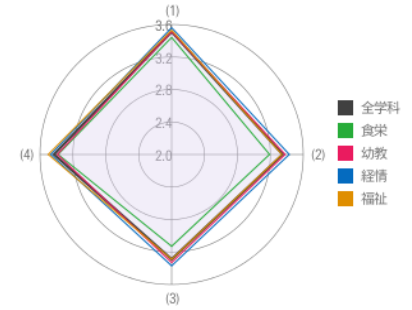
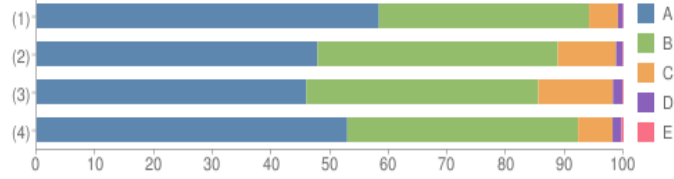
## 学習意欲を高める授業内容・方法の工夫

問3 この授業の目的や「学修成果」、成績評価の方法・基準、内容についてどの程度理解できましたか。

- (1) 「授業の目的」が明確で、理解できた。
- (2) 「学修成果」（授業を通じて獲得できる力）について説明があり、理解できた。
- (3) 「成績評価の方法」と「ルーブリック（評価基準）」の説明があり、理解できた。
- (4) 「授業の内容」は、分かりやすく理解できた。

### 【選択肢】

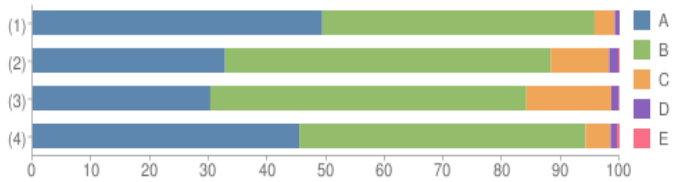
- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| A. 大いに理解できた  | D. あまり理解できなかった  |
| B. いくらか理解できた | E. まったく理解できなかった |
| C. どちらともいえない |                 |



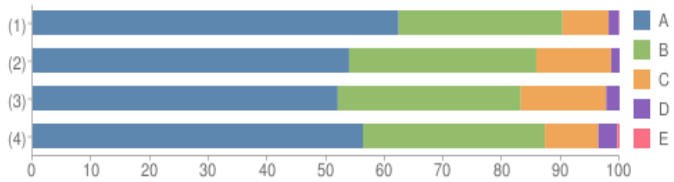
- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| (1) 明確な授業目標               | (2) 「学修成果」の説明と理解     |
| (3) 「成績評価の方法」・「ルーブリック」の説明 | (4) 分かりやすい授業内容と理解と理解 |

## 学科別回答結果

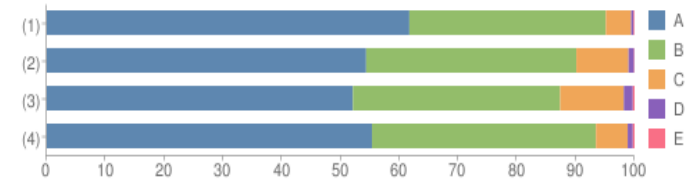
### 食物栄養学科



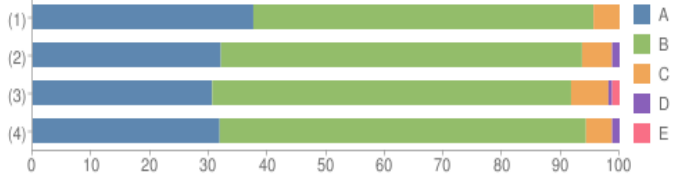
### 幼児教育学科



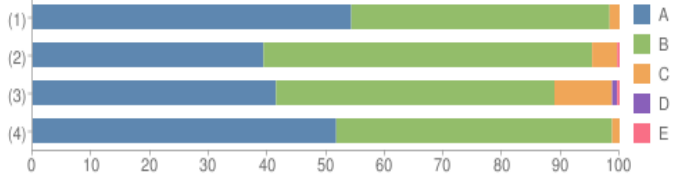
### 経営情報学科



### 専攻科 食物栄養専攻



### 福祉学科



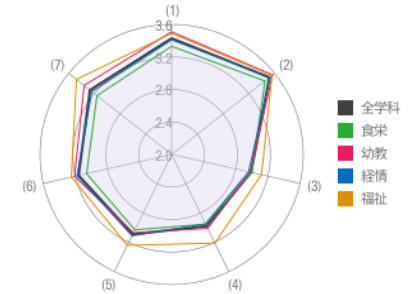
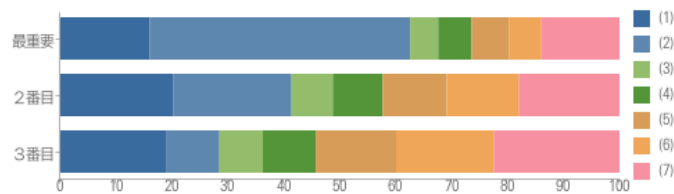
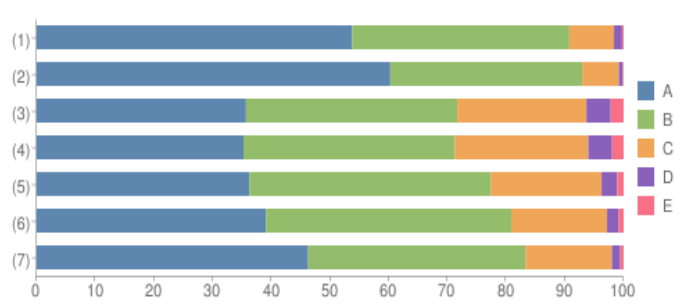
## 学習意欲を高める授業内容・方法の工夫

問4 この授業の効果・成果について、どのように評価しますか。

- (1) 授業の内容・方法は、自分の興味・関心を喚起するものだった。
- (2) 授業の内容・方法は、将来の職業に関連する知識や技能・技術を獲得する上で役立った。
- (3) 授業の内容・方法は、人に分かりやすい文章を書く力を獲得する上で役立った。
- (4) 授業の内容・方法は、人に分かりやすく話す・説明する力を獲得する上で役立った。
- (5) 授業の内容・方法は、ものごとを分析的・論理的に考える力を獲得する上で役立った。
- (6) 授業の内容・方法は、課題を見つけ、解決方法を考える力を獲得する上で役立った。
- (7) 授業の内容・方法は、社会に出ていく上で必要な社会性・人間性を高める上で役立った。
- (8) この授業を評価するにあたって、上記の項目の中で最も重要と思うものはどれですか。また、2番目に、3番目に重要と思うものはどれですか。

### 【選択肢】

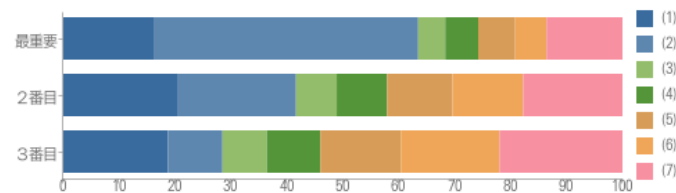
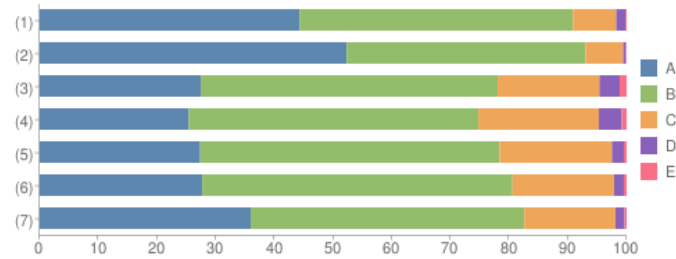
- |              |                |
|--------------|----------------|
| A. 大変役立った    | D. あまり役立たなかった  |
| B. いくらか役立った  | E. まったく役立たなかった |
| C. どちらともいえない |                |



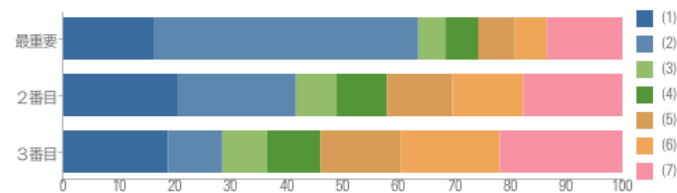
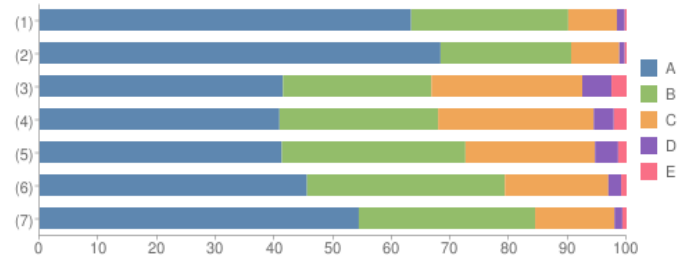
- |              |                |
|--------------|----------------|
| (1)興味・関心の喚起  | (2)知識・技能・技術の取得 |
| (3)文章力       | (4)プレゼン能力      |
| (5)分析・論理的思考力 | (6)課題発見・解決力    |
| (7)社会性・人間性   |                |

## 学科別回答結果

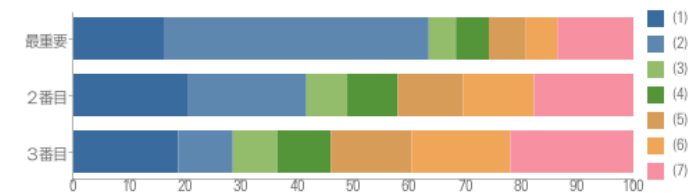
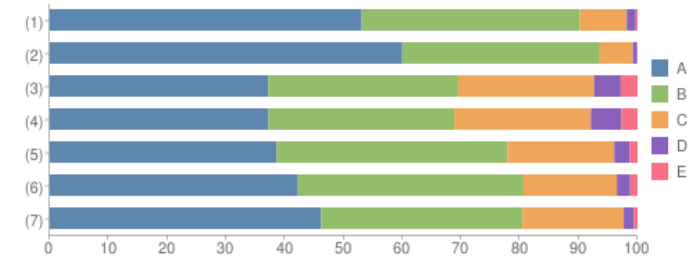
### 食物栄養学科



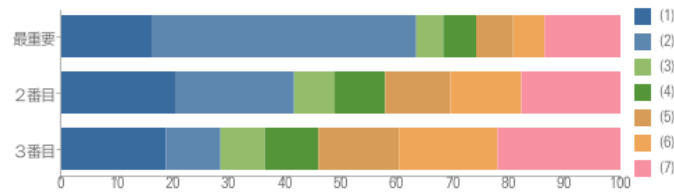
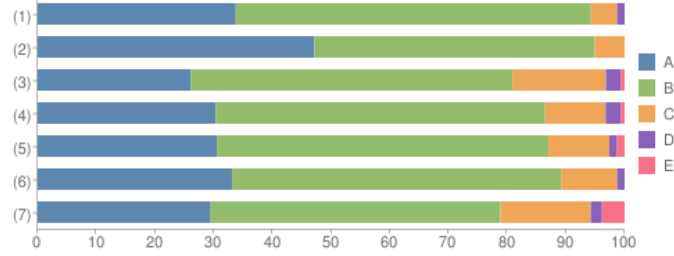
### 幼児教育学科



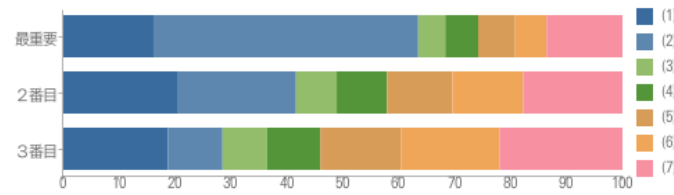
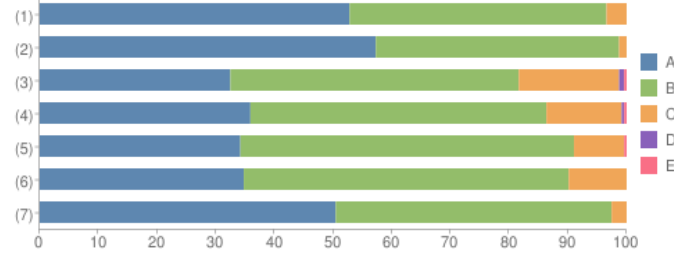
### 経営情報学科



専攻科 食物栄養専攻



福祉学科

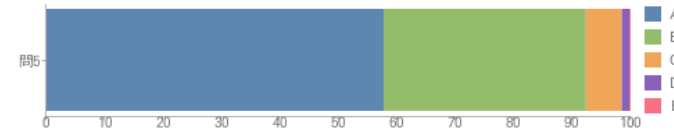


総合評価

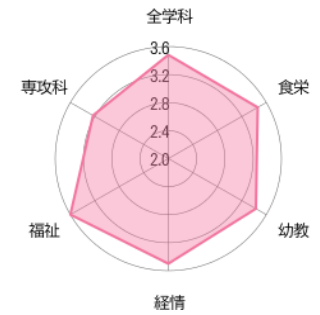
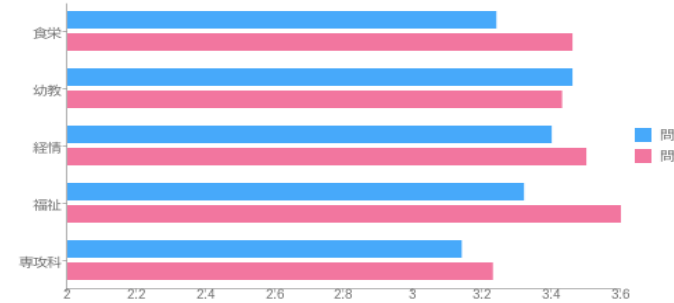
問5 あなたにとって、この授業は、総合的にみて良かったと思いますか。

【選択肢】

- A. 大変良かった
- B. 良かった
- C. どちらともいえない
- D. 良くなかった
- E. まったく良くなかった



総合評価(授業満足度)[問5]と「学修成果」の自己評価[問1の平均]



## 学修行動（学習意欲に関する自己評価）

問6 あなた自身は、この授業にどのように取り組みましたか。

(1) この授業の欠席回数は何回ですか。

【選択肢】 A：0回, B：1回, C：2回, D：3回, E：4回以上

(2) 授業1回あたりの、授業外学習（予習・復習・宿題・試験対策等の）時間はどれくらいですか。

【選択肢】 A：3時間以上, B：1.5時間以上3時間未満, C：1時間以上1.5時間未満, D：30分以上1時間未満, E：30分未満

(3) 授業で出された課題や宿題はきちんと行った。

(4) 授業中に、質問や発言をした。

(5) 授業時間以外に、担当教員に質問したり相談をした。

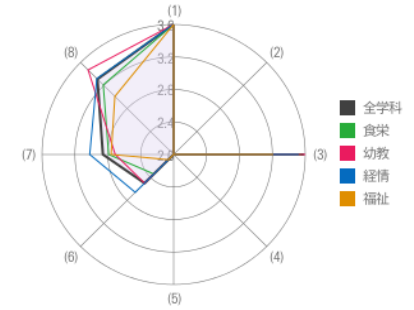
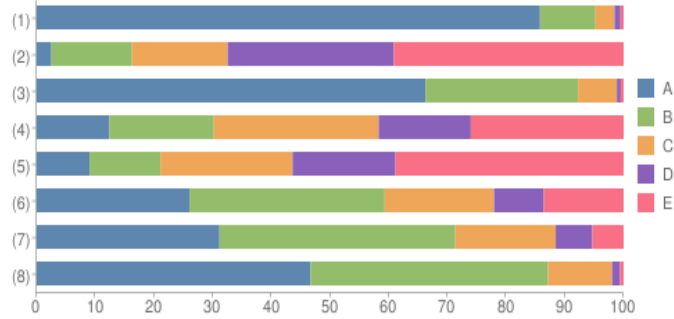
(6) 予習・復習・宿題・試験対策等、友だちと一緒に学習した。

(7) 授業で分からなかったこと、興味を持ったことは、自主的に調べた。

(8) 良い成績をとるために努力した。

### 【選択肢】

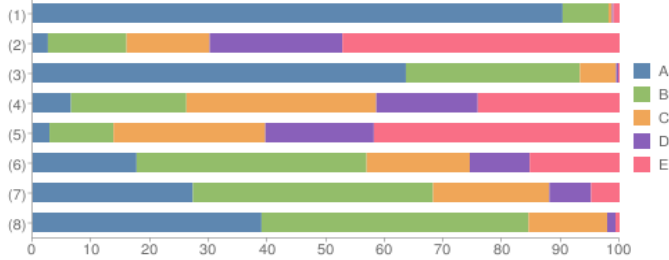
- |              |               |
|--------------|---------------|
| A. 積極的に行った   | D. あまり行わなかった  |
| B. 行った       | E. まったく行わなかった |
| C. どちらともいえない |               |



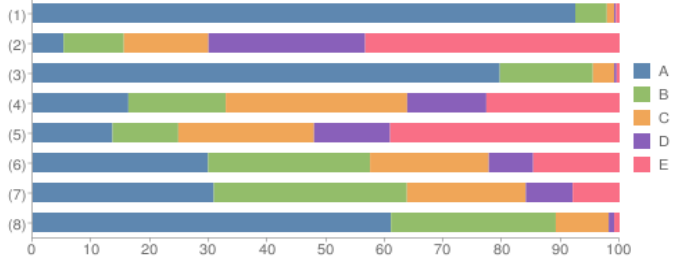
- |              |             |
|--------------|-------------|
| (1)欠席回数      | (2)授業外学修時間  |
| (3)宿題・課題の実施  | (4)質問・発言    |
| (5)教員への質問・相談 | (6)友達との協働学習 |
| (7)自主的学習     | (8)自己努力     |

## 学科別回答結果

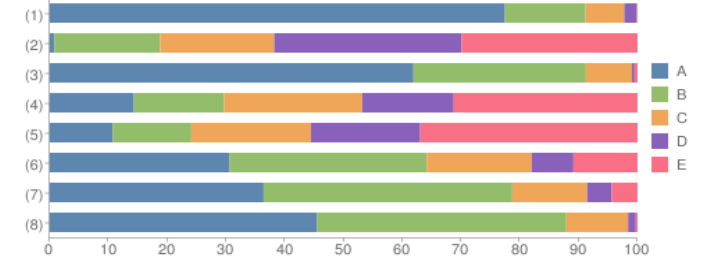
### 食物栄養学科



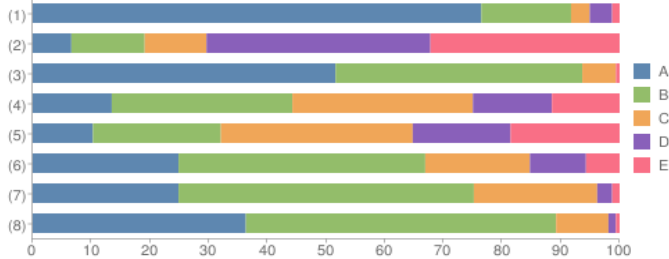
### 幼児教育学科



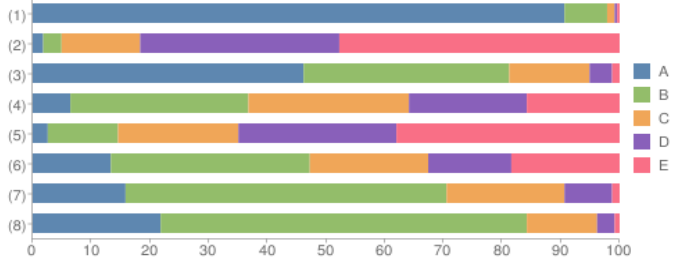
### 経営情報学科



### 専攻科 食物栄養専攻



### 福祉学科



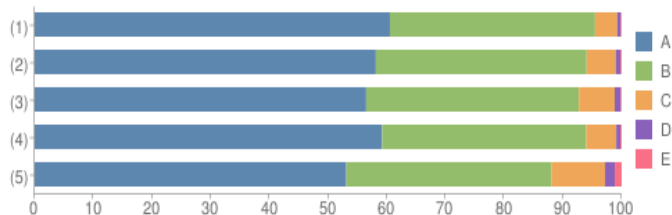
# 2020年度入学2年前期 授業アンケート結果

## 授業で獲得できた「学修成果」に関する自己評価

問1 この授業では、皆さんは、どの程度「学修成果」を獲得したと自分で評価しますか。

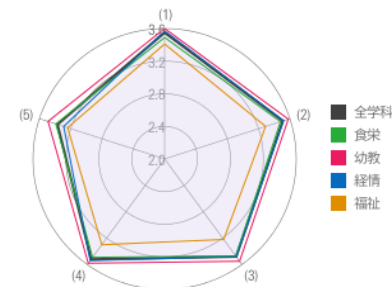
- (1) 授業で説明された知識を理解し、身に付けることができた。
- (2) 授業で目指された、実践や表現、分析等のための技能（スキル）を身に付けることができた。
- (3) 授業で学修した知識・技能を活用して、当該分野の課題を解決あるいは表現・実践できるようになった。
- (4) 当該分野に対する関心が高まり、自ら主体的に学ぶ意欲、あるいは課題に取り組む意欲が増した。
- (5) 他者や社会、自然・環境との関わりの中に生きる人間として必要な社会性・人間性が身に付いた。

全学平均（専攻科を除く）



4学科平均値比較（専攻科を除く）

A：4点, B：3点, ..., E：0点として平均値を求めている。以下,特に注釈がなければ同様。



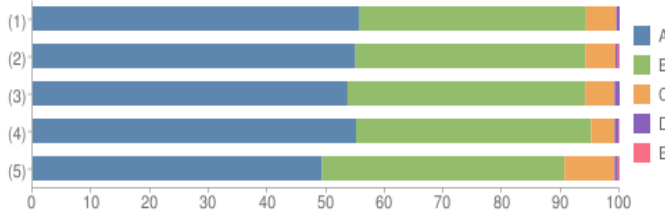
## 【選択肢】

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| A. 大いに身に付いた  | D. あまり身に付かなかった  |
| B. いくらか身に付いた | E. まったく身に付かなかった |
| C. どちらともいえない |                 |

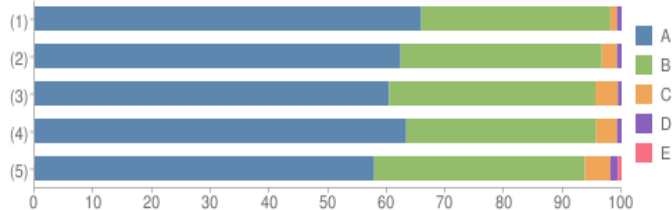
- |              |             |
|--------------|-------------|
| (1)知識・理解     | (2)技能       |
| (3)思考・判断・表現力 | (4)関心・意欲・態度 |
| (5)人間性・社会性   |             |

## 学科別回答結果

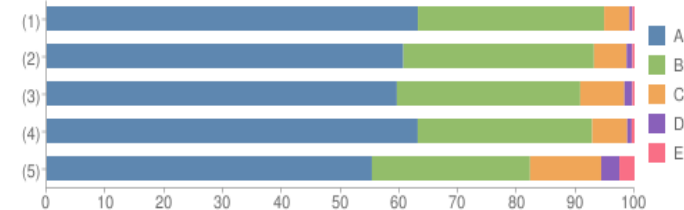
### 食物栄養学科



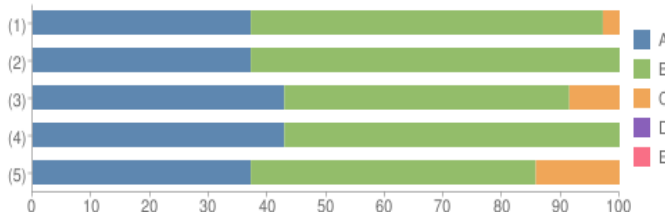
### 幼児教育学科



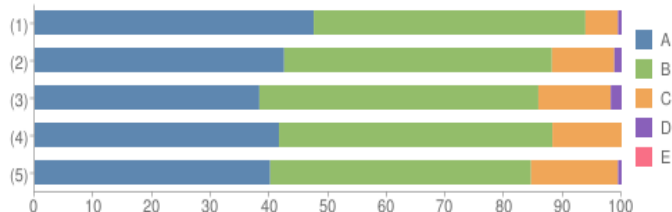
### 経営情報学科



### 専攻科 食物栄養専攻



### 福祉学科



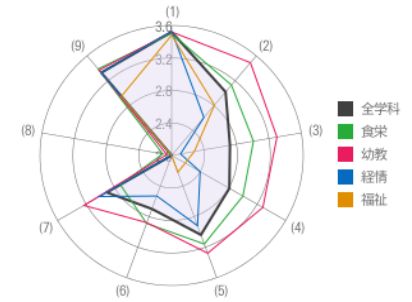
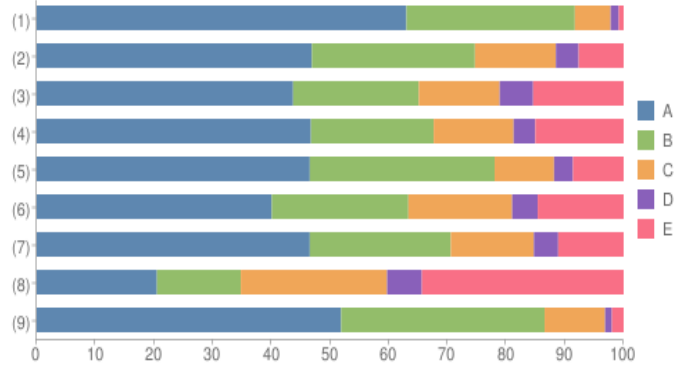
## 授業形態・方法

問2 この授業では、「学修成果」を高めるために、どのような工夫がなされていましたか。

- (1) 教材（配布資料、板書、スライド等）が工夫されていた。
- (2) 授業中に、学生の意見や考えを求められた。
- (3) グループワークやディスカッションなど、学生の参加・協働学習の機会があった。
- (4) 体験的な学習（実習、実験、フィールドワーク等）の機会があった。
- (5) 期末試験の他に、小テストやレポートなどの課題が出された。
- (6) 課題などの提出物が、適切なコメントが付されて返却された。
- (7) 毎回の授業アンケート（「質問・意見」など）に関する解説・回答などフィードバックがあった。
- (8) 個別指導や補習が行われた。
- (9) その他、「学修成果」を高める工夫がなされた。

### 【選択肢】

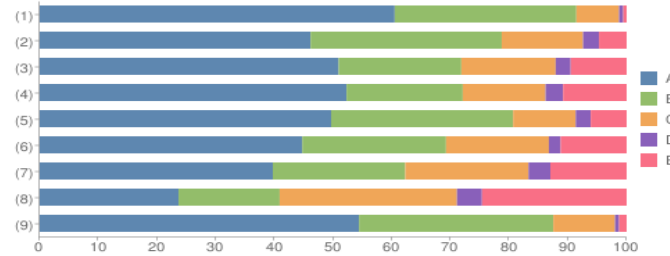
- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| A. 大いにあった    | D. あまりなかった        |
| B. いくらかあった   | E. まったくなかった（該当なし） |
| C. どちらともいえない |                   |



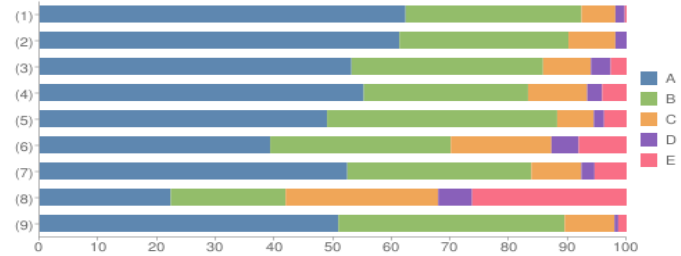
- |                       |              |
|-----------------------|--------------|
| (1)教材の工夫              | (2)双方向・学生の意見 |
| (3)グループワーク 学生の参加・協働学習 | (4)体験学習      |
| (5)小テスト/レポート          | (6)コメント付き返却  |
| (7)毎回アンケートのフィードバック    | (8)個別指導・補習   |
| (9)その他の工夫             |              |

## 学科別回答結果

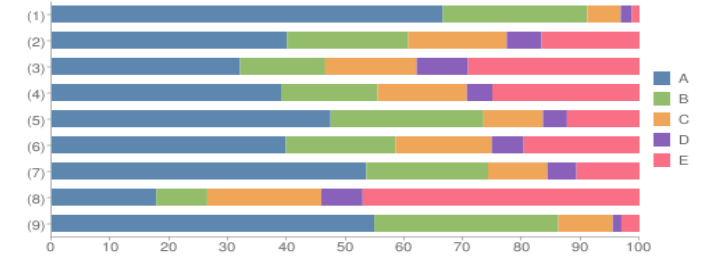
### 食物栄養学科



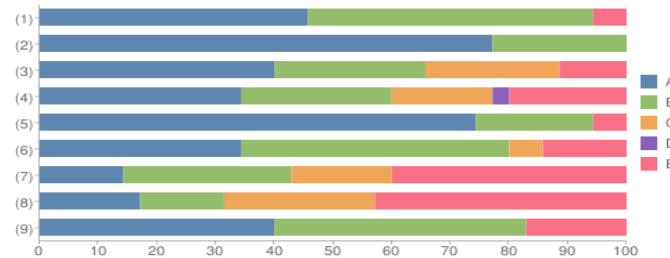
### 幼児教育学科



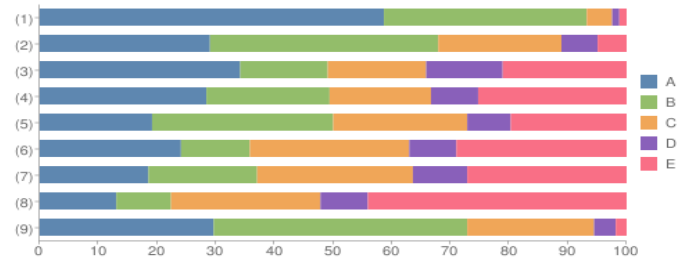
### 経営情報学科



### 専攻科 食物栄養専攻



### 福祉学科



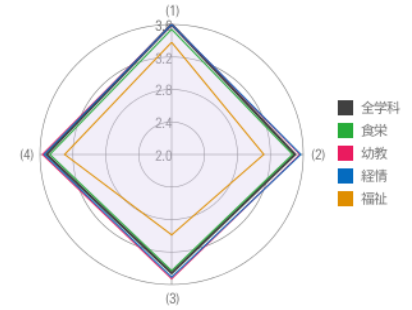
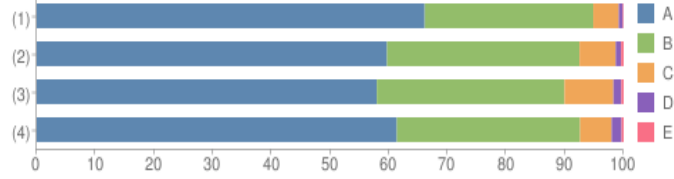
## 学習意欲を高める授業内容・方法の工夫

問3 この授業の目的や「学修成果」、成績評価の方法・基準、内容についてどの程度理解できましたか。

- (1) 「授業の目的」が明確で、理解できた。
- (2) 「学修成果」（授業を通じて獲得できる力）について説明があり、理解できた。
- (3) 「成績評価の方法」と「ルーブリック（評価基準）」の説明があり、理解できた。
- (4) 「授業の内容」は、分かりやすく理解できた。

### 【選択肢】

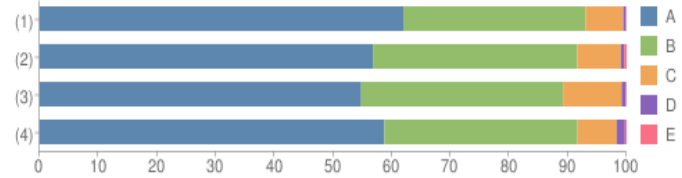
- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| A. 大いに理解できた  | D. あまり理解できなかった  |
| B. いくらか理解できた | E. まったく理解できなかった |
| C. どちらともいえない |                 |



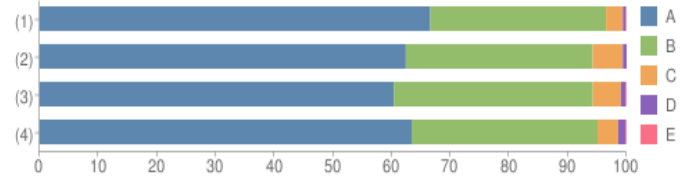
- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| (1) 明確な授業目標               | (2) 「学修成果」の説明と理解     |
| (3) 「成績評価の方法」・「ルーブリック」の説明 | (4) 分かりやすい授業内容と理解と理解 |

## 学科別回答結果

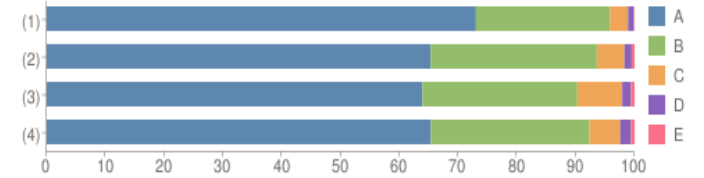
### 食物栄養学科



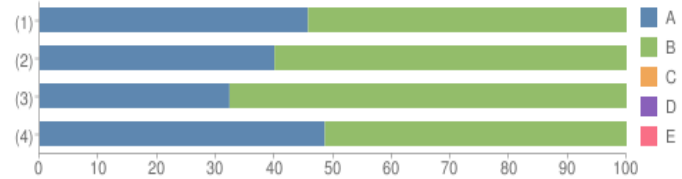
### 幼児教育学科



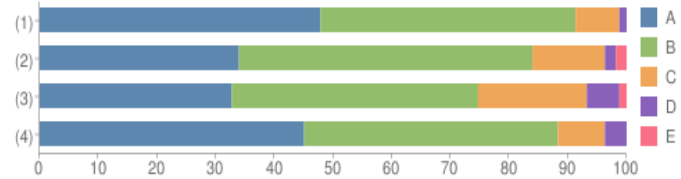
### 経営情報学科



### 専攻科 食物栄養専攻



### 福祉学科



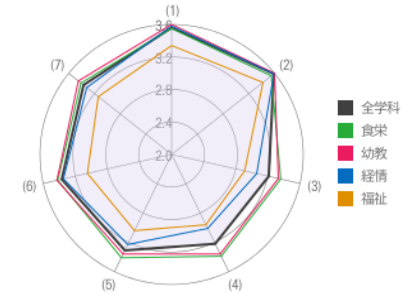
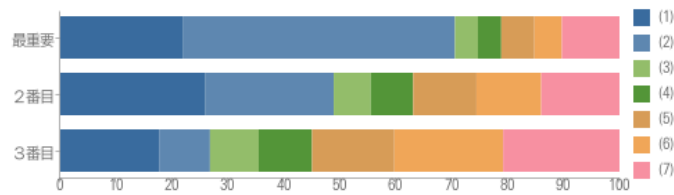
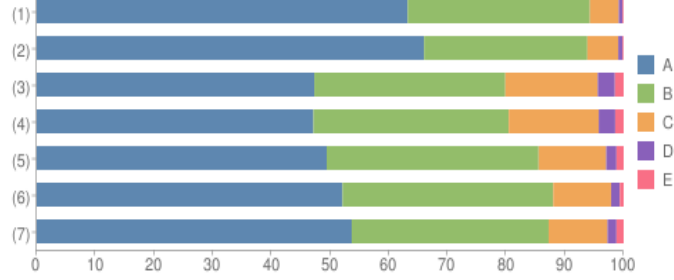
## 学習意欲を高める授業内容・方法の工夫

問4 この授業の効果・成果について、どのように評価しますか。

- (1) 授業の内容・方法は、自分の興味・関心を喚起するものだった。
- (2) 授業の内容・方法は、将来の職業に関連する知識や技能・技術を獲得する上で役立った。
- (3) 授業の内容・方法は、人に分かりやすい文章を書く力を獲得する上で役立った。
- (4) 授業の内容・方法は、人に分かりやすく話す・説明する力を獲得する上で役立った。
- (5) 授業の内容・方法は、ものごとを分析的・論理的に考える力を獲得する上で役立った。
- (6) 授業の内容・方法は、課題を見つけ、解決方法を考える力を獲得する上で役立った。
- (7) 授業の内容・方法は、社会に出ていく上で必要な社会性・人間性を高める上で役立った。
- (8) この授業を評価するにあたって、上記の項目の中で最も重要と思うものはどれですか。また、2番目に、3番目に重要と思うものはどれですか。

### 【選択肢】

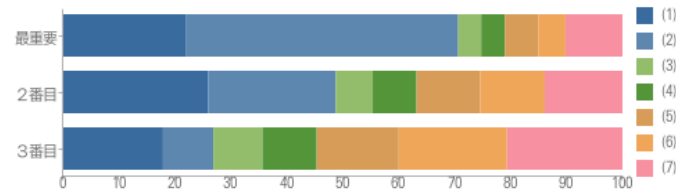
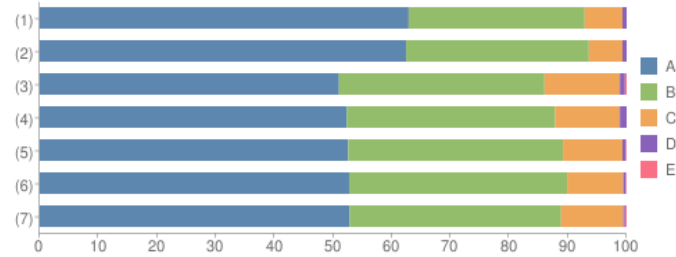
- |              |                |
|--------------|----------------|
| A. 大変役立った    | D. あまり役立たなかった  |
| B. いくらか役立った  | E. まったく役立たなかった |
| C. どちらともいえない |                |



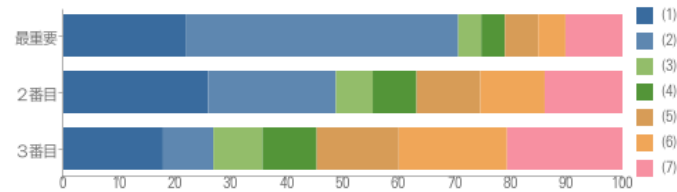
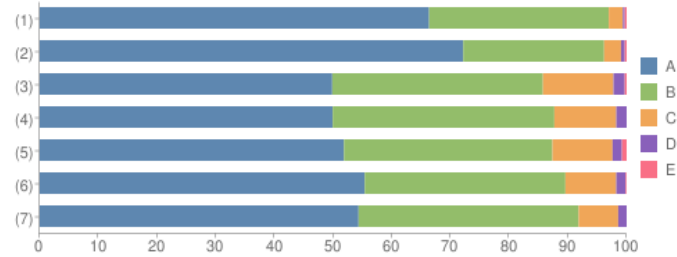
- |              |                |
|--------------|----------------|
| (1)興味・関心の喚起  | (2)知識・技能・技術の取得 |
| (3)文章力       | (4)プレゼン能力      |
| (5)分析・論理的思考力 | (6)課題発見・解決力    |
| (7)社会性・人間性   |                |

## 学科別回答結果

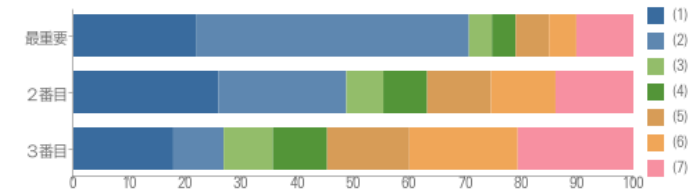
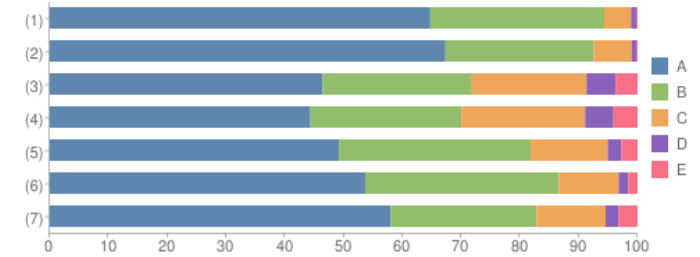
### 食物栄養学科



### 幼児教育学科

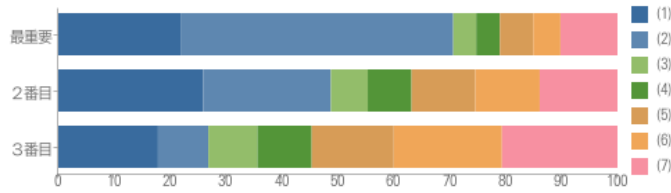
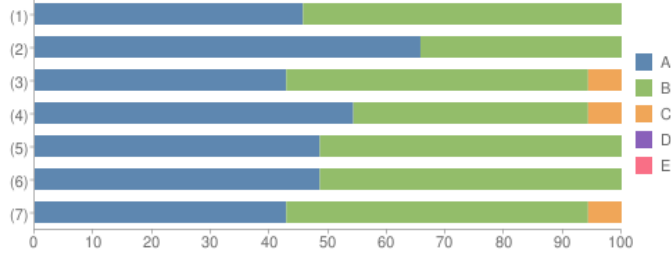


### 経営情報学科

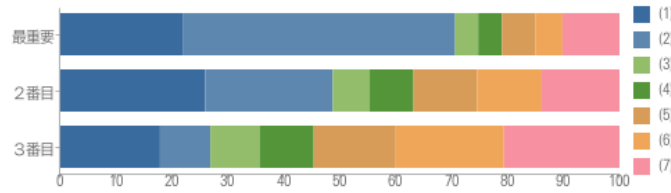
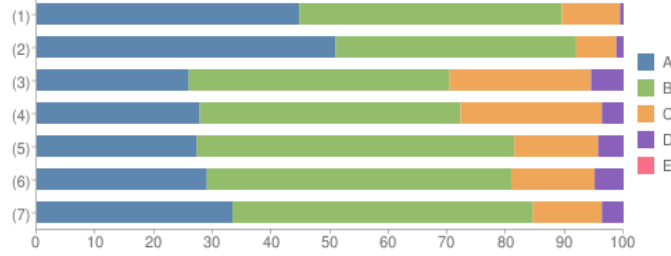




専攻科 食物栄養専攻



福祉学科

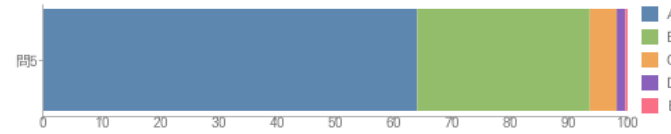


総合評価

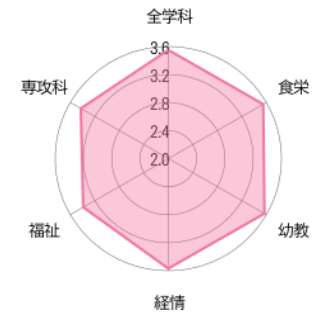
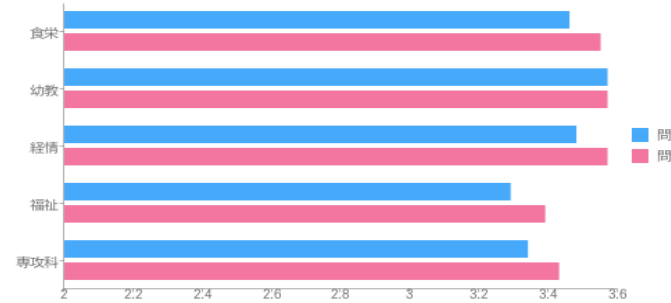
問5 あなたにとって、この授業は、総合的にみて良かったと思いますか。

【選択肢】

- A. 大変良かった
- B. 良かった
- C. どちらともいえない
- D. 良くなかった
- E. まったく良くなかった



総合評価(授業満足度)[問5]と「学修成果」の自己評価[問1の平均]



## 学修行動（学習意欲に関する自己評価）

問6 あなた自身は、この授業にどのように取り組みましたか。

(1) この授業の欠席回数は何回ですか。

【選択肢】 A：0回, B：1回, C：2回, D：3回, E：4回以上

(2) 授業1回あたりの、授業外学習（予習・復習・宿題・試験対策等の）時間はどれくらいですか。

【選択肢】 A：3時間以上, B：1.5時間以上3時間未満, C：1時間以上1.5時間未満, D：30分以上1時間未満, E：30分未満

(3) 授業で出された課題や宿題はきちんと行った。

(4) 授業中に、質問や発言をした。

(5) 授業時間以外に、担当教員に質問したり相談をした。

(6) 予習・復習・宿題・試験対策等、友だちと一緒に学習した。

(7) 授業で分からなかったこと、興味を持ったことは、自主的に調べた。

(8) 良い成績をとるために努力した。

### 【選択肢】

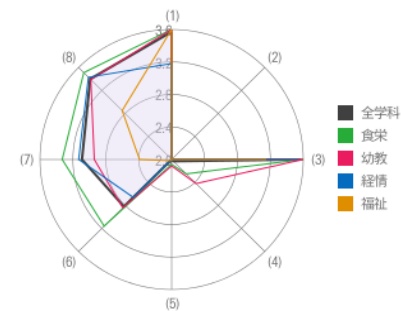
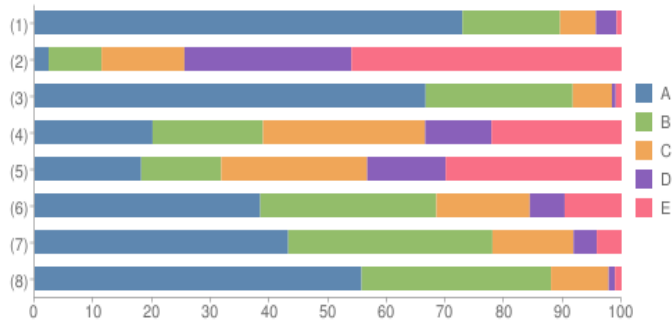
A. 積極的に行った

D. あまり行わなかった

B. 行った

E. まったく行わなかった

C. どちらともいえない



(1)欠席回数

(2)授業外学修時間

(3)宿題・課題の実施

(4)質問・発言

(5)教員への質問・相談

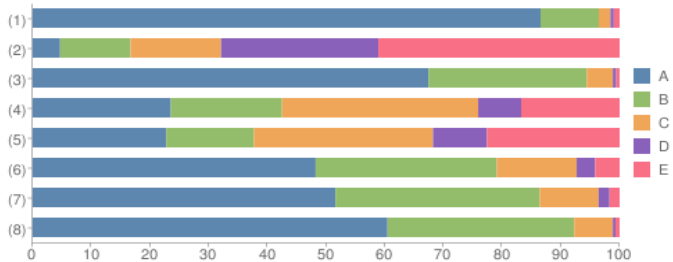
(6)友達との協働学習

(7)自主的学習

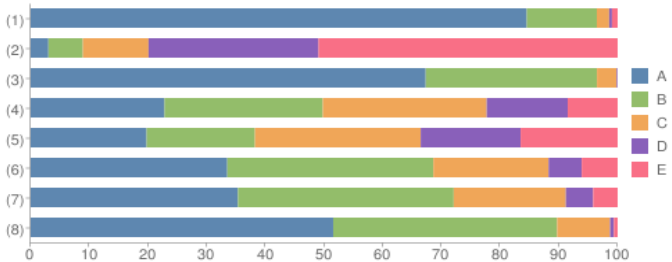
(8)自己努力

## 学科別回答結果

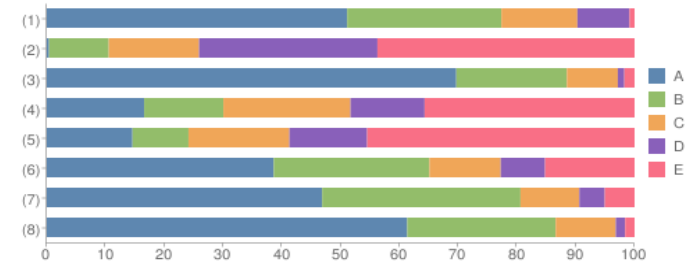
### 食物栄養学科



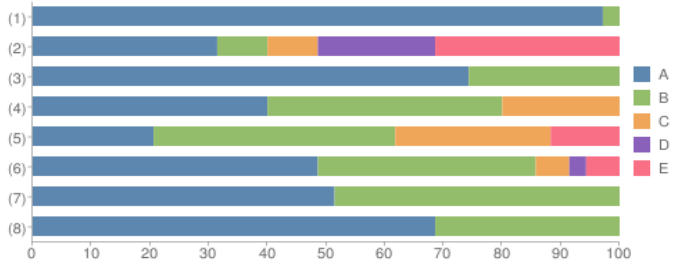
### 幼児教育学科



### 経営情報学科



### 専攻科 食物栄養専攻



### 福祉学科

